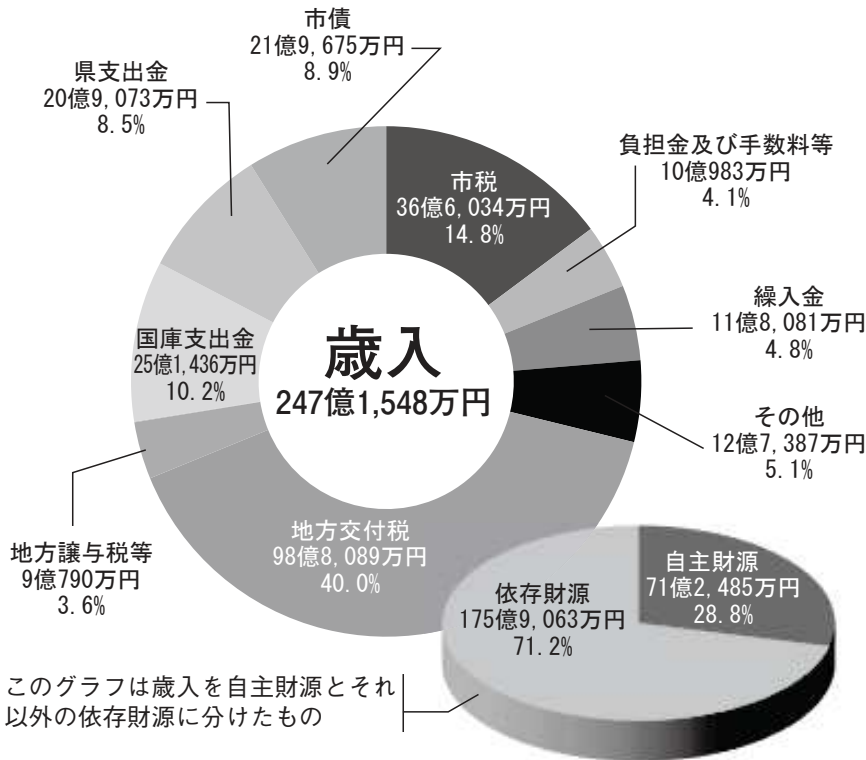


平成29年度

決算報告

■一般・特別会計の概要

一般会計 歳入・歳出グラフ

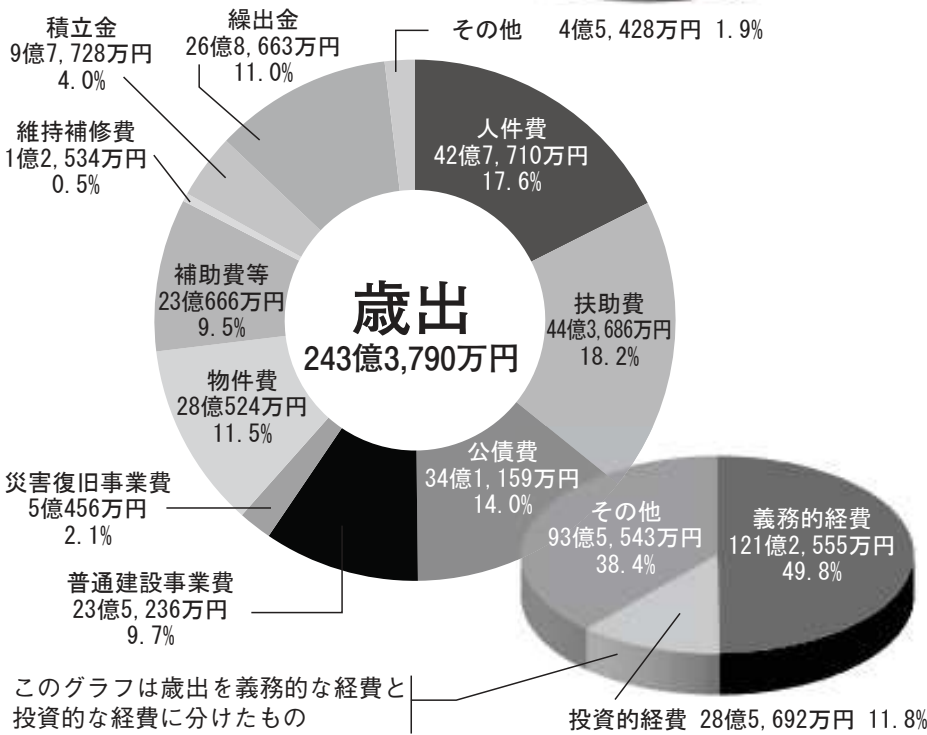


歳入

予算現額252億1684万円に対して、調定額249億7270万円、収入済額は247億1548万円、不納欠損額2960万円、収入未済額2億2762万円の決算となっております、収入率は予算比98・0%、調定比99・0%

歳出

となっております。



特別会計

10ある特別会計の歳入総額は136億3487万円、歳出総額134億1919万円、歳入歳出差し引きの合計形式収支額は、2億1568万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源2110万円を差し引くと実質収支額は1億9458万円の黒字となりました。

市債残高

一般会計における当年度末の市債残高は、前年度末より9億4746万円減少。特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より19億8205万円減少し、379億5351万円となりました。

詳細は市のホームページへ！

財政状況、財政健全化判断比率の詳細は、市のホームページでも公開しています。

圖財政課 (☎0854-83-8017)

財政方針 健全化 検索

決算の状況

(単位：万円)

		歳入	歳出	差し引き	市債残高	基金残高	
一般会計		247億1,548	243億3,790	3億7,758	306億3,100	75億4,507	
特別会計	国民健康保険事業	50億8,487	49億9,882	8,605	0	2億9,828	
	国民健康保険診療所事業	1,068	1,068	0	4,402	1,224	
	後期高齢者医療事業	11億2,724	11億2,021	703	0	-	
	介護保険事業	54億1,248	53億1,098	1億150	0	7,940	
	住宅新築資金等貸付事業	5,562	5,562	0	0	-	
	生活排水処理事業	1億8,364	1億8,364	0	4億5,424	6,270	
	簡易給水施設事業	1,994	1,994	0	0*	-	
	農業集落排水事業	7,246	7,246	0	4億1,103	-	
	大田市駅周辺土地区画整理事業	8,077	8,077	0	2億5,427	-	
	下水道事業	15億8,717	15億6,607	2,110	61億5,895	2億5,041	
特別会計合計		136億3,487	134億1,919	2億1,568	73億2,251	7億303	
企業会計	病院事業	収益的収支	43億671	44億8,373	△1億7,702	32億9,873	2億7,664
		資本的収支	6億2,615	7億5,663	△1億3,048		
	水道事業	収益的収支	11億9,646	11億4,475	5,171	64億3,230	4,985
		資本的収支	3億7,745	7億7,932	△4億187		

※ 簡易給水施設事業債は、水道事業との統合により移管（平成29年度～）。

健全化判断比率 ー指標すべてが健全化基準を下回っています

平成19年6月、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。地方公共団体は、4つの指標である「健全化判断比率」、公営企業の経営の健全化

を判断する指標である「資金不足比率」を公表することが義務付けられました。

各比率は次のとおりで、監査委員の審査を受け、9月市議会に報告しました。

○早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準を超えると…

それぞれに対応した計画を作成し総務大臣などに報告、自主的または国・県の関与のもとに財政健全化を行うこととなります。

■実質赤字比率

普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模^{※1}に対する比率で、普通会計の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…12.91%
財政再生基準…20.00%

大田市 ー%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

■実質公債費比率

普通会計が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、市の借金の返済額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…25.00%
財政再生基準…35.00%

大田市 13.6%

■将来負担比率

普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、市が将来支払っていく負担額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…350.00%

大田市 94.0%

■連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率で、市全体の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…17.91%
財政再生基準…30.00%

大田市 ー%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

■資金不足比率

公営企業における資金不足額の事業の規模に対する比率で、事業規模である料金収入に対する資金不足の程度を示しています。

経営健全化基準…20.00%

大田市 ー%^{※2}
(赤字、資金不足なし)

すべての指標で、早期健全化（経営健全化）基準内であり、財政状況は「健全」と言えます。しかし、「指標が基準内にあること」＝「市の財政が豊か」というわけではありません。今後も、各指標を参考に、健全な財政運営に努めていきます。

※1 地方公共団体の標準的な状態で通常収入があるであろう経常的一般財源の規模を示すものです。
※2 赤字、資金の不足が生じておらず、比率が算定されないため、「ー」表示となります。